

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

2学期末の学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。保護者アンケートでは肯定的回数が90%を超える設問が多く、昨年度を上回る項目も多く見受けられました。また一年を通して前期よりも伸びたものは○、下がったものは△で表しておりますので、資料をご覧ください。



生徒アンケートにおいて「相手の気持ちを考えた態度や言葉遣いをしている」「友だちや学級のなかまなどが困っているときに声をかけている」「学校では人権の大切さについて学ぶことが多い」などの肯定的意見が多くなっています。このことは、人権を大切にした学校づくりを進めている本校の強みととらえることができます。

アンケートの結果を報告します

岡中だより

平成31年
2月 7日
第34号
(文責)花岡

「マセマティクスコンテスト」略して「マスク魂」が二月一日の3時間目に全校で行われました。

表は、計算問題。裏は三重県の中学生が苦手としている割合の問題です。
表、裏とも全問正解は全校で31人でした。
後日、表彰予定です。

マセマティクスコンテストが全校で

毎日の家庭学習に取り組んでいる73%

授業や、朝学習、朝読書など皆さん日々の取り組みを見ていますと、とても熱心な様子が伝わってきます。しかし、27バーセントの人が、家ではほとんど勉強していないというアンケート結果が出ています。これはとてももつたないことです。

勉強では、「わかる」と「できる」はちがうといわれます。授業で、「ああ、そうか」とわかつても、問題をやつてみるとできないこともあります。そこで、その確認をするのが、家庭学習です。その日の授業で習った内容を中心に、問題集に取り組みましょう。

親に「勉強しなさい」を言わせない。また言われても素直に反応できる自分を作りましょう。人は気にしていることをズバリ指摘されると腹が立つことが心理学的に証明されています。だから、「勉強しなさい」と言われると「今やろうと思ったのに」とやる気がなくなってしまいます。しかし、普段からきちんと家庭学習をやっている場合は、気にしているので、「勉強終わった」と言われても別に腹は立ちません。

「勉強終わった」と言われて自分はどうなのか。どう思うか。これで普段の自分を判断できるのです。家庭学習が習慣になるといいですね。



特別支援学級の作品展が2/2~2/4
エコー1階で行われました。
どの学校の作品も素晴らしい出来栄えでした。

